

会 議 録

会議の名称	第5回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会
開催日	平成25年9月24日(火)
開催時間	午前10時から 11時35分 まで
開催場所	白岡市役所庁舎 3階 庁議室
会長の氏名	秋葉清一郎
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	高橋直樹(代理:石倉実希雄)、明野真久、細井将司、鶴岡 洋、高原 昭、佐々木 操、市村春樹、折原茂幸、浅野悦子、長谷川 博、野口政治、橘井公治、浅見淳二、斉藤正美、神山邦夫、中川幸廣、秋葉清一郎、柳 政男、菅原清孝 19人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	尾崎晴男 1人
説明員の職・氏名	総合政策部 部長 平岩亮司 企画調整課 公共交通準備室 室長 齋藤 久 企画調整課 公共交通準備室 主幹 大谷昌司 企画調整課 公共交通準備室 主査 内田英俊
事務局職員の職・氏名	総合政策部 部長 平岩亮司 企画調整課 課長 野口仁史 企画調整課 公共交通準備室 室長 齋藤 久 企画調整課 公共交通準備室 主幹 大谷昌司 企画調整課 公共交通準備室 主査 内田英俊
その他会議出席者の職・氏名	傍聴3名

<p>会議次第</p>	<p>1 開会 2 挨拶 3 会議事項 (1) 検討項目 5〔運行曜日〕について【継続協議】 (2) 検討項目 1 2〔システム活用の可否〕について ～デマンド交通オペレーションシステムのデモンストレーション～ (3) その他 ア 第 6 回会議の日程について イ アンケート調査の回答結果（件数）について 4 閉 会</p>
<p>配布資料</p>	<p>会議次第 検討項目 5〔運行曜日〕について【継続協議】 検討項目 1 2〔システム活用の可否〕について 検討項目及びこれまでに選択した方向性 白岡市地域公共交通会議及び白岡市地域公共交通確保維持改善協議会 委員名簿 オンデマンド交通システム（東京大学大学院パワーポイント資料） バスの日（パンフレット）</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 平岩総合政策部長の進行により会議が開会した。
秋葉会長	2 挨拶 秋葉会長から挨拶が行われた。
事務局	3 会議事項 (1) 検討項目5〔運行曜日〕について【継続協議】 事務局から資料に基づき説明が行われた。
秋葉会長	<p>前は、「交通弱者の最低限の移動の確保」「毎日運行が望ましい。」「デマンド交通が始まると需要の落ち込みに不安があるので制限が必要である。」といった意見をいただいた。</p> <p>これらの意見を踏まえて、改めて事務局案として「平日＋土曜日」が提案された。意見・質問などはないか。</p>
A委員	<p>(質疑)</p> <p>利用する立場から最低限でも土曜日を運行していただきたい。</p> <p>一人暮らしの方々を考慮すると、事務局案で進めていただきたい。</p>
B委員	<p>老人会の代表で来ている立場から、連合会のクラブの方の意見を聞いてきた。</p> <p>3連休が年間に結構あるので、平日＋土曜日が良いとの希望があったので、その線で検討してほしい。</p>
C委員	<p>今年の場合は3連休が9回ある。家族と同居している方はよいが、一人暮らしの人を考えると、土曜日は病院もやっており買物もあるので、平日＋土曜日の運行をお願いしたい。</p>

秋葉会長	<p>利用者の立場から、平日＋土曜日の事務局案に賛成の意見をいただいているが、バス事業者の方から意見はないか。</p>
D委員	<p>バス事業者への配慮として、白岡駅周辺の共存共栄の模索について、何かあれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>J R 白岡駅西口から菖蒲仲橋行きの民間バスへのデマンド交通の対応というご質問について、朝晩の通勤・通学の方が多く利用している路線で、市内の北から「押出し、高台橋、神社前」の三つのバス停留所からの利用が多い。</p> <p>市が今後、デマンド交通を構築するに当たり、現時点で午前8時30分から午後5時30分までの運行時間の方向性を決めていただいた。白岡駅菖蒲仲橋線の昼間時間帯の交通弱者の需要の喚起策を考えていきたい。</p>
秋葉会長	<p>運行時間帯は日中ということで、朝晩を外しており、日中のデマンド交通と民間バスの共存を検討していきたいという説明であった。</p>
E委員	<p>市の配慮の内容をお聞きしたが、この件について別の政策もあると思う。見直して知恵を絞っていただきたい。</p> <p>また、市へのお願いとして、デマンド交通がないときとあるときを比べて、どの位バスに影響があるのか、統計的に数字の面から調べていただきたい。</p>
事務局	<p>今後のデマンド交通と既存の交通事業者との連携は、市として民間バスに、より多く乗っていただくためのPR活動を考えさせていただきたい。</p> <p>民間バス・タクシー事業者への影響については、デマンド交通の運行前後の影響度調査を行うなど、今後検討させていただきたい。それに当たっては、事業者に了承いただいてから調査ができるなら検討をしていきたい。</p>

F 委員	<p>国の補助を受けて、フィダー系統のデマンド交通としている場合、路線バスに乗り継げることを考えて、デマンド交通を運行する計画としていただきたい。</p>
D 委員	<p>民間バスは、朝夕の通勤・通学者の利用との説明があつたが、白岡市の場合は少ないが、日中のお客も乗っていただかないと維持できない。日中のお客への影響がないわけではないことを御承知おきいただきたい。</p>
秋葉会長	<p>いろいろ議論いただいたが、これまでの決定項目の中でも、利用対象者は市内で、事前登録が必要という限定がある。</p> <p>また、交通弱者を最低限助けることが行政の考え方なので、平日＋土曜日との事務局の提案についても、運行後も協議しながら影響の出ない方策を検討して運行を見直していくことで、事務局の提案どおりでよいか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
秋葉会長	<p>運行曜日については、「平日＋土曜日」とする。</p> <p>前回と変わっている点として、「祝日・年末年始を除く。」旨が追加されていることを確認していただきたい。</p>
本多研究員	<p>(2) 検討項目 1 2 [システム活用の可否] について</p> <p>事務局及び東京大学大学院本多研究員から、「オンデマンド交通システム」の資料に基づき説明が行われた。</p>
秋葉会長	<p>(質疑)</p> <p>システムのデモンストレーションについて、ご意見、ご質問はないか。</p>
G 委員	<p>乗降場所について、本市では何箇所くらいがシステムで円滑にいけるのか。</p>

事務局	<p>事務局で考えているのは、歯科医を含めた医療機関が約60箇所、買物のスーパーマーケットなどの商業施設、銀行・信用金庫・農協などの金融機関、公共施設関係、国交省の補助に関わるフィダー系統である民間事業者との連携としてのバス停留所を考えると、200箇所以上となる。</p> <p>久喜市では400～500箇所、北本市は年々増加傾向にあり、500～600箇所設定している。</p> <p>当市としては、当初200～300箇所が必要と考えている。</p>
G委員	<p>そのことから、システム活用が妥当と考えられる。</p>
H委員	<p>表3のシステム活用・非活用の特徴比較にある判断材料として、登録者数、利用者数の多い場合、少ない場合の数値を示していただきたい。</p>
事務局	<p>正確な数値は分からないが、1時間単位で運行時刻が設定されるので、セダンタイプで3～4人の運行が2回くらいできれば、多いものと想定している。</p> <p>一人乗車の場合は、少ない場合であると考えている。</p>
H委員	<p>活用したいとの方向性での検討なので、事務局は、システム活用は必要と考えているということか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
I委員	<p>普段タクシー事業者は、配車をやっており、システムは、今は必要ないと思う。将来4～5台になれば必要かと思う。</p> <p>運行が時間単位と決まっていて、セダンの場合、4人位が限界なので、システムを活用しなくても、オペレーターとドライバーで対応できると思う。</p> <p>オペレーター経験者でない人がやる場合には必要だが、経験あるタクシー事業者であれば必要ないと思う。</p>

J 委員	<p>タクシー事業者であればできるとの話であるが、タクシー事業者の配車はお迎えが基本であり、オペレーターは、到着時間を考えない。</p> <p>乗り合いなので、その間に埋めていく作業が必要である。ダイヤにした場合は、1台に多くの人を乗せることが前提である。</p> <p>私は、久喜市でやっているが、到着地点の登録が大変である。タクシーのシステムには、到着地点は入れない。タクシーのシステムとは違うので、使った感想としてはシステムを入れていただいた方がよいと思う。</p>
A 委員	<p>東の方に何時まで行きたい、北の方に何時までに行きたいとなった場合に、システムがある場合、バッティングした時に問題がない。</p> <p>利用者の視点としては、スムーズに目的地に希望時間に着いてほしいので事務局提案がよいと思う。</p>
K 委員	<p>私もシステムがある方がよいと思う。予約システムがない場合は、オペレーターのさじ加減で決まってしまう、苦情の原因になる。</p> <p>システムがあった方が、予約時間の透明性が確保できる。システムで受けているのでという説明ができる。</p>
H 委員	<p>東大のシステムについて、ランニングコストが年間360万円とあるが、例えば、経年劣化する期間はどのくらいと考えたらよいか。</p>
本多研究員	<p>現在のランニングコストは機材の購入ではなく、レンタルでの運用で考えている。民間の会社が行っているので、大体3年位で交換する。</p> <p>機材が壊れた場合は、新しいものと交換されるので、どの位もつかは意識する必要はない。</p>

F 委員	<p>運行開始後も予約が入れば、うまく配車できるシステムとなっているという説明があった。前回、1時間前までの予約となったが、1時間前ではなくても、うまくシステムを使う方法があるのではないか。</p>
本多研究員	<p>システムでは、何分前という時間の制限は設けていない。1～2分前でもよいが、車がそこにいなければ1分前には乗れない。</p> <p>他市の事例では、運転手の予定が突然変わると、運転に影響が出ることを心配して、30分～1時間前までで打ち切っている。運用上の問題となる。</p>
J 委員	<p>運用の形としては、ぎりぎりだと混乱する。システムを使っても、手配するのに1～2分かかる。他市も事前でやっている。</p> <p>タクシーでないので、基本的にデマンド交通ではすぐの対応は考えられない。あくまでも予約をとっていただいて、何人かでまとめて乗るという前提である。</p> <p>システムの的にできるとしても、受け付けて手配することを考えると、事前に切っていただく方がありがたい。</p>
秋葉会長	<p>全体的にシステムを活用する方向と伺ったが、システムを活用するという事務局案でよいか。</p>
全委員	<p>意義なし。</p>
E 委員	<p>(3) その他</p> <p>E委員より9月20日の「バスの日」について、パンフレットにて説明があった。</p>
事務局	<p>ア 第6回会議の日程について</p> <p>事務局から10月22日（火）午前10時からの案の提示が行われた。別の期日が提案されたが、最初の案のとおり、10月22日（火）午前10時からに決定された。</p>

事務局 佐々木副会長	<p>イ アンケート調査の回答結果（件数）について</p> <p>アンケートは、1,750通回収（回答率58.3%）した。 現在集計中で次回会議において中間報告させていただく。</p> <p>4 閉会</p> <p>佐々木副会長から挨拶が行われた。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成 年 月 日</p>	